

別紙

<スケジュール>

- 10:00 開会式
- ・主催者挨拶 NTT東日本福島支店 企画部長
 - ・協会ご挨拶 福島県バドミントン協会会長
 - ・指導員代表挨拶 NTT東日本バドミントン部監督
- 10:15 選手紹介(紹介者:コーチ)
- 10:30 準備体操・ランニング、基本ストローク説明、基本ストローク/ノック
- 12:00 昼食
- 13:00 ゲーム練習/模範試合/整理体操
- 15:00 閉会式/意見交換会/記念品贈呈

<NTT東日本バドミントン部について>

NTT 東日本バドミントン部の歴史

NTT 東日本バドミントン部は、昭和30年に「電電東京バドミントン部」として発足以来、50年以上の歴史があり、厳しい練習を積み重ね数々の大会において好成績を残し、日本バドミントン界をリードする名門としての伝統を築き上げてきました。

昭和60年には、日本電信電話公社の民営化(日本電信電話株式会社)に伴い、チーム名を「NTT東京」に変更、平成11年7月には、NTTの再編成(東日本電信電話株式会社)に伴い、チーム名を「NTT東日本」に変更し、現在に至っています。

日本リーグにおける過去の成績では、男子は優勝17回(10連覇含む)準優勝8回。全日本実業団大会では、男子が優勝26回(15連覇含む)準優勝20回の成績を収めています。(いずれも最多優勝回数)

平成25年度においては、全日本実業団選手権で男子が準優勝・女子が第3位、日本リーグでは男子・女子とも第3位。また、個人では田児賢一選手が全日本総合選手権男子シングルスにおいて前人未踏の6連覇、桃田賢斗選手が第3位、女子シングルスでは三谷美菜津選手が初優勝に輝いているのをはじめ、各選手がそれぞれの大会において上位入賞を果たしております。また、国際試合においても、男子シングルスで田児賢一選手が「ヨネックスオープン2013」「フランスオープン2013」において準優勝、桃田賢斗選手が「USオープン」において第3位に入るなど、国内外で活躍しております。

NTT東日本バドミントン部2013年主な成績

(国外)

- ヨネックスオープン2013(男子シングルス) 準優勝 田児 賢一 選手
- フランスオープン2013(男子シングルス) 準優勝 田児 賢一 選手
- BWF スーパーシリーズファイナルズ2013(男子シングルス) 第3位 田児 賢一 選手
- 中国オープン2013(男子シングルス) 第3位 田児 賢一 選手
- US オープン2013(男子シングルス) 第3位 桃田 賢斗 選手

(国内)

- バドミントン日本リーグ2013
(男子)第3位(女子)第3位

- 第67回全日本総合バドミントン選手権大会
男子シングルス 優勝 田児 賢一 選手(6連覇)
女子シングルス 優勝 三谷 美菜津 選手
女子ダブルス 準優勝 樽野 恵・新玉 美郷 選手組

- 第63回全日本実業団バドミントン選手権大会
(男子)準優勝(女子)第3位

- 第56回全日本社会人選手権大会
男子シングルス 優勝 桃田 賢斗 選手
男子ダブルス 第3位 小松崎 祐也・竹内 宏気 選手組
女子ダブルス 第3位 樽野 恵・新玉 美郷 選手組